

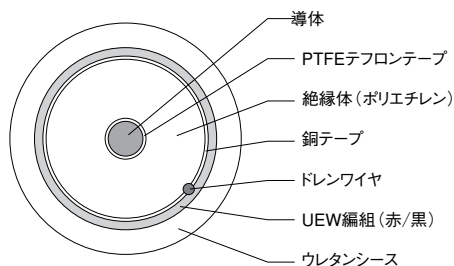
6N-DA5500 nextgen 製品仕様

■ ケーブル

外形寸法：8.6mm (直径)
 中心導体：(6N Cu)0.26φ×19本燃り
 シールド側導体：0.12φ UEW/8/24
 被覆材質：耐UVポリウレタン
 導体抵抗：18mΩ/m
 静電容量：74pF/m
 インピーダンス特性：75Ω

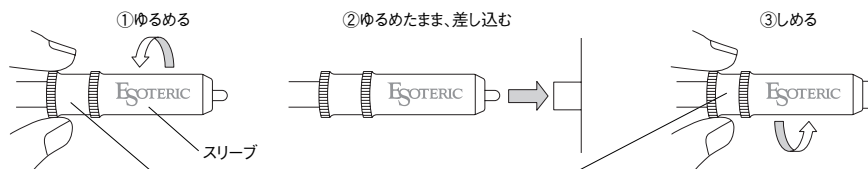
■ コネクター

WBT-0110Cu/高純度銅+金メッキ
 スリーブ(ボディ)：アルミ・マグネシウム合金 セラミック塗装
 外径：13.6mmφ
 長さ：51.0mm
 接続方法：ハンダ



【接続方法】

- 接続する際は、機器の電源はOFFにしてください。
- WBT nextgen プラグは、スリーブ(青いカバー部分)を締付けることにより接続性を高める構造の「コレットチャック方式」を採用しています。抜き差しの際には、スリーブをゆるめてください。
- 【ケーブルの方向性】ケーブルに印刷されている矢印(▶▶▶)の向きを信号の流れる向きに合わせて接続してください。
- 抜き差しは、必ずスリーブをゆるめてから、コネクターの根本部分を持っておこなってください。ケーブルを持って引き抜くと断線の原因となります。



【重要】 プラグの根本(金色の部分)を必ず押えてください。
 ※ケーブル部分を持ってゆるめる(しめる)と、ケーブルに大きな負担がかかり、断線の原因となります。

- 上記の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/av>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室

 **0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
 電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけません。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

PRINTED IN JAPAN 0607C01 TECD-0007



6N-DA5500 nextgen
Stressfree-6N (99.99997% Cu)

MADE IN JAPAN

MADE IN JAPANの真実

6NCuの開発は日本鉱業株式会社（現・日鉱マテリアルズ社）が1985年に研究開発に着手し、1987年に量産化に成功。現在の6N以上の高純度銅の需要の大半は、1997年に開発実用化が図られた高集積度半導体用の配線素材であり、これに使用されている高純度素材の量産生産者は「日鉱マテリアルズ社」と「三菱マテリアル社」の2社に事実上限られているのが世界的な現状です。実体として高度な品質保証を要求する半導体業界では上記2社の素材以外の高純度銅は製品の量産に用いられていないと考えられます。アクロリンクはこの2社と提携、分析値保証を受けた真の6N以上のCuを使用する*世界唯一のケーブルメーカーです。

現在、オーディオケーブルの分野では銅の母材品位を6N、7N、8Nなどと表記されることが多く見られますが、本来、銅の母材品位は差数法で計算されるべきもので、厳密には周期律表の銅以外の全ての金属元素（不純物）を測定し合計を100から差し引いた値が純度として表記されるべきものです。しかし、オーディオケーブルの規格として表示規準がない現状では、どの不純物をカウントし、あるいは除外するかによって品位の計算値（純度表示）は変わってしまいます。つまり、値の高い不純物元素を意図的に仕様対象から外すことすら不可能ではありません。たとえば、ごく一般的な日本の銅地金（電気銅）は4N5=99.995純度ですが、特に値（含有量）の高い不純物はAg等数元素であり、たとえばそのAgを差数法の対象から外した場合、Agはおおむね10ppm程度ですからすぐにその銅は5Nを超える表示が可能となってしまいます。アクロリンクがプロデュースし、ティアックエソテリックカンパニーが取り扱うエソテリックのケーブルは自主的に規定する6N銅として高度な品質保証を要求する半導体用途と同等の母材生産プロセスによって生産された、厳密に99.99997%以上の純度を有するものであって、金属不純物のトータル数が1ppm以下である事を原則としております。純度6N以上の高純度銅の不純物測定にはGD-MS（ジーディーマス）と呼ばれる微量測定装置を用いて大半の分析が行われており分析作業自体も高度なノウハウが必要とされます。アクロリンクでは、他ブランドに先駆けて数十種におよぶ分析項目の内、音質に影響があると思われる代表的な元素の分析値を公開。圧倒的な品質によって達成したハイスピード&ハイレスポンス、パワフルかつ繊細、ナチュラルな直接音と澄み切った間接音など、全く新しい音表現をすべてのオーディオファイルに向けて発信して行きます。

独創のストレスフリー6NCu導体

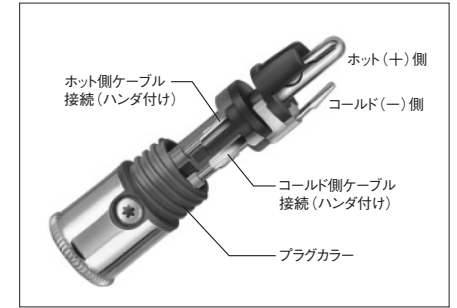
ストレスフリー加工は6N素材同様に大きな特長であり、基幹技術でもあります。純度を高め、結晶粒を大きくし、原子配列を極めて健全に仕上げた素材であってもさまざまな段階で曲げなどの外部応力が加わることを避けることはできません。この際、歪み欠陥と呼ばれる乱れが生じる場合があります。通常、伸線加工時にはアニール加工を施して結晶粒の成長を促し、大きな組織に還元しますが問題はリールに巻かざるを得ない流通過程や配線時にも同様に外部応力が加わる点です。エソテリックのストレスフリー製品は独自の特焼鈍処理と高純度銅の特性により、あまりに大きな外部応力で

ない限りセルフアニール現象で組織を健全な状態に還元することを実現したケーブルです。伸線加工後の加熱処理時点で原子配列の転移は通常の4N銅に比べ1/10倍のオーダーを達成、結晶粒の数も1/80~1/100となっています。さらに電流が流れることによってエージング=セルフアニール環境が促進され残留歪が減少し組織が健全に回復して、より高音質化するのです。

※2006年7月1日現在

導電率に優れたピュアマテリアル（銅）の使用を可能にしたWBT nextgen プラグ

RCAプラグWBT-0110の際立つ特長は素材と構造です。コールド側に接するプレートを一点接触のオープン構造とすることで、従来の面接触のクローズ構造に起因する信号の反射や過電流発生などの悪影響を排除。ホット側は純度の高いピュアマテリアル素材の板を三又状にパンチングで抜き、折り曲げて三分割した弾力性のある構造を採用。コネクター素材は伝導率や音質面からピュアマテリアル素材が理想とされつつも、素材が柔らかいため成形が困難でした。しかしWBT nextgenのプラグ形状によって、ピュア金属の使用を可能にしたのです。端子は金メッキ処理を施し、コンタクト性をより向上。ホット側、コールド側とも導電率に優れたピュア素材の採用により、従来の合金に較べて飛躍的な音質改善が図れます。さらに中心部を空洞にすることにより、広大な周波数帯域をカバー。色づけない自然な質感を獲得しています。さらにデジタルケーブルとして使用する場合にも、デジタル伝送に必須のインピーダンス75Ωを実現し、1GHz近い周波数の伝送時などに、インピーダンスの不一致による信号減衰を抑制し、ピュアなデジタル伝送を獲得します。



プラグのスリーブ（ボディ）にも新機軸の素材と構造を採用

スリーブ（ボディ）はアルミとマグネシウムの合金で成形し、表面にセラミック塗装を施すことにより、絶縁性を高め、信号の反射や過電流の発生を抑えています。コレットチック方式でスリーブを締め付けることで、より確実なコンタクトを可能にしています。